

令和6年能登半島地震 コープいしかわが取り組んだこと

(11月11日記)



どこにいても安心して利用ができるように

奥能登の利用回復状況

穴水町以北を配送している、のと北部センターエリアでは、震災前である2024年1月1回企画の利用人数と比較すると11月1回企画では約7割強の方が宅配を利用しています。新しく加入した方や利用再開した方も含まれています。

先行予約のおせちを昨年注文していた方に「今年はどうですか」と声をかけました。1月1日に地震があったから、ひっくり返ってしまい食べられなかったそうです。「おせちと聞くと地震を思い出してしまう」とも言っていました。それでも「注文する予定です」と言っていただけでうれしかったです。おせちを食べて2025年を良い年にしてほしいです。 10月17日(木) 徳田 和将さんの振り返りシートより

コープのつながりを復興の力に

みやぎ生協・コープふくしまからコープ商品セット寄贈

10月18日(金)、みやぎ生協・コープふくしまの河野雪子副理事長はじめ組合員理事2名がコープいしかわ本部を訪問し、みやぎ生協・コープふくしまの組合員からの直筆のメッセージが添えられたコープ商品セットを1,000個寄贈いただきました。今後、のと北部センターエリアの仮設住宅にお住まいの組合員へお渡しする予定です。みやぎ生協・コープふくしまでは、18日(金)、19日(土)にかけて穴水町の仮設住宅3カ所でサロン活動を実施しました。



コープこうべの募金でキッチンカー導入

10月30日(水)、コープこうべの多村孝子常務理事と組合員理事3名がコープいしかわを訪問し、被災者の暮らしの再建と被災地域の復興活動を支援するため寄せられた募金の目録を大谷理事長へ寄贈しました。コープこうべでは1月5日(金)より緊急募金を実施し多くの組合員から募金が寄せられました。いただいた募金は、今後、仮設住宅でのコミュニティづくりのためにコープいしかわが導入するキッチンカーの原資といたします。



レタス・小松菜収穫体験 能登親子を招待

10月19日(土)に中本農園の協力を得て、レタス・小松菜収穫体験を開催しました。第2部では能登の地域の組合員家族65名をバスで招待しました。当日はあいにくの雨でハウス内での小松菜収穫のみとなりましたが、参加した組合員とご家族は楽しそうに小松菜を収穫していました。行ききのバスの中ではビンゴゲームを楽しみ、収穫体験では家族での時間を過ごし、たくさんの笑顔があふれていました。



地域とともに

輪島市災害たすけあいセンター運営支援

10月から輪島市災害たすけあいセンター(災害ボランティアセンター)の運営支援を開始しました。日本生協連とコープいしかわ職員、全国の生協職員が毎週金・土・日に支援に入り、他の支援団体とともにボランティアへの活動内容を説明するマッチングや水害対応で増えた活動用資材・機材の管理などを担っています。



輪島市へボランティアバスを運行

第7回ボランティアバス

10月12日(土)、コープいしかわとしては初めて輪島市へのボランティアバスを運行しました。募集の期間が短かったこともあり、コープいしかわの職員員に向けて募集し、女性職員3名を含む7名が参加。地震で屋根が損傷した家の再建に向けて、ぬれた畳や家財などを運び出し、集積場へ運びました。



地震から10ヶ月が経ち、外からは分かりませんが、家の中にあった畳や床が朽ちていました。それでも高齢のお父様のために家を建て直そうとしている息子さんの気持ちに寄り添いたいと感じました。 **参加者感想**

第8回ボランティアバス

10月26日(土)、組合員と役職員18名が参加し、6名ずつ3班に分かれ水害にあった家の側溝の泥出しをしました。女性の参加者が多かったのですが、みんなで協力しながら泥出し作業を進めました。



能登の現状を周囲の人たちに伝えることも、復興支援の一つだと思いますので、ボランティアに行って目にした光景を伝えていきたいです。 **参加者感想**

豪雨災害でお届けできなかった商品を寄贈

9月の豪雨災害により通行止めなどでお届けできなかった商品は、パルスシステム連合会(首都圏を中心とした1都11県の生協の連合会)と連携して、珠洲市で活動している「ピースボート災害支援センター」へ提供した他、穴水町の仮設住宅団地に隣接した交流拠点「ポラまち亭」に商品を提供しました。また、日本生協連と連携して、能登で復興支援活動に取り組む「災害NGO結(ゆい)」と「NPO法人リエラ」に飲料水を提供しました。

継続中

●日本生協連の協力を得て、仮設住宅の入居者へコープの調味料セットを入居前にお届けしています。11月13日(水)までの寄贈・お届け世帯数はのべ196カ所、5,144世帯。●輪島市で避難者向け弁当を毎日各拠点まで納品。水害により避難所や自宅避難者が増えたため約600食に。当面継続予定。

Q 同じ化粧品を使いたいと思っても次回の企画が分かりません。情報を載せてほしいです。

A 企画回から「8週先」までの範囲で企画予定があるもののみ「次回企画案内」の記載をしております。

取り扱いを終了する場合には「今回最終」マークを付けております。この「今回最終」マークは、「4週に1回以上」の頻度で企画を行っている商品にのみ、紙面上で最終の企画回に可能な限り表記しております。ただ、カタログの作成は3ヵ月ほど前に行っているなどの事情により、企画頻度の少ない商品や不定期での企画商品、ご利用が少なく企画を見合わせるようになった商品などについては、「最終の企画である」ということや「しばらく企画が無い」ということをご案内できない状況です。



Q 今、定期登録で冷凍弁当をとっています。主人が塩分量にうさく、もう少し塩分を控えたおかずは無いですか？

A 夕食宅配では塩分を抑えた「おもしろおかずコース」があります。

冷凍弁当はお子様から年輩の方まで幅広い年代に対応できるように献立の内容を考えております。30種類の献立を作成するにあたり、塩分は約2.5~4.5gと幅広くなっています。極力塩分を抑えるよう、製造メーカーにも伝えさせていただきます。冷凍ではありませんが、月曜日から金曜日まで毎日お届けしている夕食宅配には塩分量が約2gの「おもしろおかずコース」がありますので、塩分調整が必要な際はご活用ください。

コープいしかわの姿

2024年4月1日~2024年9月30日

	予算	実績	前年
宅配事業供給高(億円)	66.4	66.6	68.3
店舗事業供給高(億円)	21.3	22.3	20.7
経常剰余金(万円)	-10,045	-4,727	-2,440

出資金: 73億7,655万円 (UP 4,138万円)

組合員数: 167,930人 (UP 386人) (カッコ内は前月比)

9月度安全確認情報

(8月21日~9月20日 検査結果判明分)

検査名	検査実施数
新商品事前	249品
定例企画商品	287品
残留農薬検査	14品
ヒスタミン検査	1品
アレルギー検査	4品
放射能検査	4品
産地判別検査	1品

組合員の環境貢献度(10月度)

商品カタログ回収率 **51.0%**
注文書袋・保冷箱内袋回収率 **24.3%**

理事会だより

2024年度 第6回 10月24日(木)開催

承認及び報告された主な議題は次の通りです。

決まったこと

1.9月度事業・経営報告 承認の件

- 「つながる力で能登を笑顔に」ミーティングを9月4日(水)、18日(水)に開催し、能登地区での利用の広がりや事業ごとの復興応援の取り組みを共有しました。
- 宅配事業では、組合員の安否確認を継続して行い、のと北部センター全体のカタログ配布は、震災前の70.6%まで回復しました。
- 店舗事業では、地域からの要望を受けて9月28日(土)より羽咋市眉丈団地の仮設住宅へコボ丸便の運行を開始しました。
- 9月5日(木)にくらしの見直し講演会「賢いお金の付き合い方」を開催し49名が参加しました。物価上昇が続くなか、お金の健康維持の基本を踏まえながら、お得に節約する生活防衛やポイ活などの豆知識を学びました。

2.個人情報保護基本規程改定承認の件

3.のとセンター修繕工事の追加工事に伴う投資承認の件

報告されたこと

- 1.2024年度損益見通しと下期経営対策について
- 2.第25期 秋の総代会議のまとめ(速報)